

■タイ：首都圏の水がめ、貯水率 50%以下に

大手経済紙は2014年1月8日、タイ発電公社（EGAT）の Bhumibol 水力発電所（77 万 9,200kW）と Sirikit 水力発電所（50 万 kW）のダムの貯水率が 50%以下になり、中部や南部の下流域で水不足が発生する可能性があるとして報じた。現在の貯水率は、Bhumibol ダム 35.9%、Sirikit ダム 50.0%で、1 カ月以内にダム上流で降雨がなければ、水不足のおそれがあるとしている。記事は「近年、異常気象でダム管理が難しくなっている。両ダムは中部地域や首都圏の水がめであるので、対策を講じる必要がある」と結んでいる。